

検討会結果概要

総合政策局技術政策課

○国土交通省では、運輸分野における水素・燃料電池等の更なる利活用の拡大、利便性の向上等を目指して、官民が情報を把握・共有し、技術的課題を整理していくとともに、具体的な解決策等を検討するための官民プラットフォームとして、第2回「運輸分野における水素・燃料電池等の利活用の拡大を目指した技術検討会」を令和4年2月7日に開催した。

○議事では、まず、事務局から今後の検討の進め方及び主な検討項目の案について説明、第1回検討会の議論・ヒアリングの意見の整理について報告したほか、事務局、(一社)日本自動車工業会、トヨタ自動車株式会社、海事局検査測度課より、個々の課題に係る検討状況(自動車用の燃料用タンクの要件、鉄道分野でのこれまでの検討、燃料用タンクの輸送用途での利用など)についてそれぞれ報告がなされた。

事務局から、今後の検討の方向性として、各分野で共通と思われる以下の3つの課題を提示したところ、出席者から賛同が得られた。

課題(1) 水素タンクの汎用化

課題(2) 水素タンクの標準化・規格化

課題(3) 水素燃料の充填場所(水素ステーション)及び充填方法

○意見交換では、次のような意見が民間側出席者から出された。

- ・水素タンクの汎用化との検討方針だが、タンクバルブ(安全弁を含む)についても汎用化されるよう議論をお願いしたい。
- ・水素燃料の充填方法のひとつとして、水素タンクの着脱式は検討に値するものの、技術的課題の検証が必要。
- ・荷役機械に加え、農業機械や建設機械等についても検討対象に含めるのかどうか議論いただきたい。

○加えて、経済産業省高圧ガス保安室から、科学的知見に基づき合理的な規制としていくことが重要であること、例えば、特認による方法を一般化していくことは進め方の一つ、国土交通省の検討を注視し今後とも情報共有や意見交換をしていきたいといった旨のコメントがなされた。

○次回は令和4年3月開催を予定。

(以上)